

令和6年第3回海陽町議会定例会会議録（第1号）	
開 会 年 月 日	令和6年9月9日
開 会 場 所	海陽町議会 本会議場

開 会	東 議 長	皆さんおはようございます。 本日、第3回海陽町議会定例会を開くにあたり、議員各位におかれましてはご多忙の中、ご参集を賜り誠にありがとうございます。 これより、令和6年第3回海陽町議会定例会を開会します。（午前9時30分） ただいまの出席議員は14名です。定足数に達していますので、直ちに本日の会議を開きます。 本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。
	東 議 長	日程第1、会議録署名議員の指名を行います。 本日の会議録署名議員は会議規則第126条の規定により、議長において、6番 叶岡議員、7番 小山議員を指名します。
	東 議 長	日程第2、会期の決定についてを議題にします。 お諮りします。本定例会の会期は、本日から9月19日までの11日間としたいと思いますが、ご異議ありませんか。 （「異議なし」との声あり）
	東 議 長	異議なしと認めます。 よって会期は、本日から9月19日までの11日間と決定しました。
日程第3 諸般の報告	東 議 長	日程第3、諸般の報告を行います。 派遣関係につきまして、まず、議長会等については、7月30日、徳島県町村議会議長会定期総会、8月8日、徳島県町村議会議員研修会などに議長ほか議員が出席しております。そのほか、6月30日、戦没者追悼式、7月1日、海部消防組合議会第1回臨時会、7月2日、海部郡防犯連合会総会、7月2日、阿佐東線連絡協議会総会、7月14日、海部地区鎮火祭祈願式、7月16日、四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟四国地方整備局要望、7月22日、海部郡町村議会議員研修会、7月29日、四国横断線改良促進期成同盟会理事会及び総会、8月1日、四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟中央要望、8月20日、徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道・徳島自動車道等整備促進決起大会及び中央要望、8月21日、四国新幹線整備促進期成会東京大会などに議長ほか議員が出席しております。 次に、監査委員より、6月から8月の例月出納検査について、議長宛てに報告がありましたので、ご報告いたしておきます。 次に、教育委員会より、令和5年度教育委員会事務事業点検・評価報告書の提出がありましたので、ご報告いたしておきます。 次に、町長からお手元にご配布のとおり14件の議案の提出がありましたので、ご報告いたしておきます。 なお、本定例会で受理した陳情書は、お手元にご配布のとおりです。議会運営委員会で審査の結果、所管の常任委員会に付託いたします。 以上で、諸般の報告を終わります。
	東 議 長	日程第4、町長行政報告を行います。 三浦町長。
日 程 第 4 行 政 報 告	三浦町長	本日、9月議会定例会を招集をいたしましたところ、議員の皆さま方には、ご多用の中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。 まずは、8月13日に浅川で起きました火災で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。 先日の8月8日に南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が出されました。5年前にできた制度で、今回初めての運用となり、お盆の連休と重なったため、日本中の人たちが混乱をしたところでした。翌々日には穴喰港祭りもありましたが、海陽町としましてはあらかじめ対応の準備をしていたため、避難路への経路の誘導看板を立てて、町内放送や会場内放送で周知をしながら注意を促し、日常の生活を継続する中で開催に踏み切りました。しかしながら、自治体の対応はさまざま、沿岸部のある自治体では海水浴場の閉鎖などを行ったところもあり、某関西エリアの

		テレビ局で対応の違う海陽町との比較も報道されたところでございます。今回の臨時情報の影響で、町に関連がある宿泊施設等についてはキャンセルが相次ぎまして、臨時情報が出された８月８日から１８日までの１１日間で、リビエラで１８４人、２５０万円、遊遊ＮＡＳＡで９８人、約１３５万円、まぜのおかオートキャンプ場で５４６人、約１４５万円、マリンジャムで７０人、約４０万円と、合計で約９００人、５７０万円ものキャンセルが出て、その後の予約につきましても続々とキャンセルが入り、非常に大きな打撃に見舞われております。さらにはサウンディング調査で漁火施設の指定管理に関心を持っていた業者からお断りのＦＡＸが来たりと、今回の臨時情報によりまして、南海トラフ危険地域の中でも特に危険な海陽町は住めない地域という風評が広がり、今後の移住や観光の施策にも大きな影響が出てくると考えられます。このまま何もしなければ本当に誰も住めない地域になってしまいますので、さらにハンデのついた地域の自治体として、今まで以上に防災や観光、移住や情報発信などの取り組みを強化して予算付けもしていきたいと思います。議員の皆さま方のご理解、またアドバイスをよろしくお願いをいたします。 それでは６月の定例会以降と今後の展望についてご報告をさせていただきます。 まずは、「住み良い町の実現」についてでございます。 最初に海陽町で行われました指揮官訓練についてです。 ８月の５日、６日と２日間で行われた今回の訓練は、海陽町の職員全体が災害発生時における対応業務及び災害対策本部が開設した時の運営要領についての基本的事項を学び、理解することが目的です。徳島県指導のもと、災害に似た状況を付与して、本部機能を立ち上げ、情報の収集や整理、分析や対応の検討を適時に実施し、防災計画の検証も行うなど、実際さながらの対応型図上訓練となりました。 １月には能登半島地震、そして８月には日向灘でも地震が発生をし、南海トラフ地震臨時情報が出されるなど、南海トラフ巨大地震の足音が刻一刻と迫っている中、安心して住める地域を目指して、引き続き、県と協調しながら訓練に取り組んでまいりたいと思います。 次に宍喰地区防災公園整備事業についてでございます。 昨年度より本体造成工事に着手しておりまして、今年度も引き続き造成工事を進めていく予定となっております。美波町の高台造成事業と比べ進捗が遅いように感じていると思いますが、宍喰の防災公園に関しては掘削した土をダンプで土捨て場まで運ばなければならないため、切り土、盛り土を同時に行っている美波町の工法と比べてどうしても進みが遅くなります。しかしながら、確実に前進はしておりますので、できるだけスムーズに工事が進むように予算の獲得もしていければと思います。なお、今回の９月補正で４４００万円の予算計上をさせていただいておりますので、よろしくお願いをいたします。 次に宍喰地区津波避難タワー建設事業についてです。 平成２７年９月に宍喰浜地区の住民からの要望を受けまして、津波避難タワーを建設いたしました。が、西北地区の一部に、まだ避難困難地域が残っているという状況でありました。以前に宍喰西北地区から避難困難地域の解消に向けてタワー整備の要望があり、まずは今月中にタワー候補地選定のための地元住民との意見交換会を予定しておりますので、ご報告をいたします。 次に海部野根道路についてでございます。 四国８の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟として徳島・高知両県の首長と議長とで７月１６日に高松の四国地方整備局に、８月１日に財務省、国交省、地元選出の国会議員に、海部野根道路の整備促進と未着手区間である牟岐～海部間の早期事業化の要望を行ってまいりました。また、８月２０日には、徳島県知事や県議会議員、国会議員や国交省の皆さまと阿南安芸自動車道他整備促進決起大会を東京の都道府県会館で行い、その後、鈴木財務大臣や堂故国土交通副大臣へ要望活動も実施したところで「必ずやります」という強いお言葉もいただいたところです。道路要望は、我々の他にも全国各地から毎日のように行われておりますので、引けを取らないようにいろいろな方面から要望の回数も重ね、一日でも早く成就するように取り組んでまいりたいと思います。 また、８月２２日には、海部道路の用地関係住民の皆さまに事業説明会も行い、多良で発見された埋蔵文化財の概要や道路事業の今後の進め方について説明し、引き続き協力していただくようお願いもしたところです。命の道が一日でも早く完成するように、国、県と協力して取り組んでいきたいと思います。 次に町道四方原五反田線整備事業についてです。 文化村から農免道路まで続く町道四方原五反田線ではありますが、海部高校グラウンド当たりからの道の拡幅工事を行う予定で進めております。今年度は詳細設計業務を発注し、令和７年度は用地交渉、用地契約を進め、工事着手に向けて取り組みます。９月補正で委託料１１８８万円を計上させていただいておりますので、よろしくお願いをいたします。 次に海陽町の人口推計についてでございます。 ８月末時点の海陽町の人口は８２３８人で、昨年より２４５人減少し、高齢化率は４７．５４
--	--	--

		8 %となっております。近隣自治体の高齢化率が軒並み5 0 %を越える中で海陽町は何とか踏み止まってきましたが、このまま行けば3 年後には高齢化率が5 0 %を越えるようになると予測をされます。生産年齢人口がどんどん減っていく中、有効な対策をみんなで考え、実行していかなければ、今後、町を支えていくことが非常に厳しくなりますので、引き続き、皆さま方のアイデアもいただけますよう、よろしくお願いをいたします。 次に、新しい公共交通の在り方についてでございます。 合併以降、乗車人数が3 分の1 に減少しております町営バス等について、7 月に町民3 5 0 0 人を対象に公共交通に関するアンケートを実施させていただきました。 また、川上地区や穴喰地区などの山間部のいきいきサロン参加者からアンケートや生の声の聞き取り調査なども行っております。その結果、自宅付近での乗り降りやきめ細かいルート運行、電話予約でのドア to ドア運行などを望む声がたくさんあったところでございます。そこで、まずは穴喰地区久尾線で予約制によるドア to ドアに近い運行形態の実証実験を1 月頃から取り組んでまいりたいと思います。またその結果を踏まえ、平井線や相川線なども地域の特性に応じた利便性の高い移動手段を検討してまいりたいと考えており、今後は地域公共交通の活性化法定協議会を立ち上げる中で、計画を策定してまいりたいと思います。 次に職員採用についてでございます。 昨今の全国的な少子化や公務員離れに伴い、海陽町職員試験を受ける方々が激減をいたしております。町としましても職員確保に向け、SNS での情報発信やPR 動画の作成、私や現役職員によるオンライン説明会の開催や高校・大学などの訪問、さらには移住フェアでの職員募集案内活動の実施など、さまざまな取り組みを行っているところです。職員採用に関しては、今後、年を追うごとに厳しくなることが予測をされますので、インターンシップの受け入れ等など、新たなリクルートの方法なども考えながら人材確保に向けて取り組んでまいりたいと思います。 次に、サル被害対策についてでございます。 海陽町全域におきまして、サル被害が頻発をしております、檻の設置など捕獲に向けた取り組みを実施をしているところではありますが、今後のより効果的な取り組みとして、住民の皆さまと一体的な被害対策を進めていきたいと考えております。そこで1 1 月9 日に住民向けのサル被害防止対策研修会を海南文化村で実施する予定でございます。 次に、「にぎわうまちの実現」についてでございます。 まずはふるさと納税でございますが、令和5 年度の1 年間でふるさと納税実績が6 9 6 6 件で1 億7 8 6 0 万5 千円、企業版ふるさと納税実績が9 件で3 9 0 万円、合計で1 億8 2 5 0 万5 千円でありました。今年度は4 月から8 月2 9 日までの5 カ月間で1 8 0 3 件、3 7 1 5 万6 千円の寄附を頂いており、前年度同時期に比べて件数で4 4 8 件、寄附額で6 2 8 万4 千円伸びております。物価高の影響で、生活用品を返礼品に持っている自治体に人気集中しているふるさと納税市場におきまして、本町は不利な状況であるのは否めませんが、今後、町の主力商品である伊勢エビ解禁に向けて充実を図る中で、前向きにガバメントクラウドファンディングの実施や海陽町産品のPR などもしっかり進めていきたいと思っています。年末に向けまして寄附額2 億円を目標に取り組んでいき、唯一行政の工夫で収入増を図ることができるふるさと納税制度を、これからもどんどんと活用していけるよう、未来の見える町づくりの推進をしていきたいと思っています。 次に海陽町観光関連施設指定管理業務の公募型プロポーザル実施についてでございます。 経営が悪化をしておりますリビエラしにくい、遊遊N A S A、道の駅穴喰温泉等の観光施設は、令和4 年度から観光レクリエーション施設在り方検討会議を役場内に設置すると共に、昨年7 月には民間事業者意見を広く聞くサウンディング型市場調査を実施し、議論と検討を重ねてまいりました。また、本年2 月からは観光や健全運営に関する専門家や町内関係団体、そして町議会議員の皆さまで構成する海陽町観光施設の在り方検討委員会におきまして議論をしていただき、運営方法については当面は指定管理者制度を用いて運営することが望ましいとの答申書をいただいたところです。これらの意見を踏まえまして、令和7 年4 月以降の指定管理者の選定に当たりましては、広く事業者を募集し、対象施設を効果的かつ効率的に管理するため、豊富な経験や高い専門知識を有する事業者から創意工夫のある提案を求め、公募型プロポーザルにより指定管理者を選定させていただくこととしております。現在、海陽町ホームページにおきまして募集についての案内をさせていただいておりますので、議員の皆さまにおかれましても、事業の周知や企業さまへのお声掛けなど、ご協力、ご配慮につきまして、よろしくお願いをいたします。 次に空き家調査についてでございます。 消防団に依頼しておりました空き家調査ではありますが、9 月末現在で約6 割が調査済みで7 5 0 戸の空き家が確認をされており、未確認のものも含めて、海陽町全体で約1 2 0 0 戸程度の空き家があるのではないかと推測されます。今後、利活用できる空き家や通常管理を要する空き家、さらには老朽化して危険なものなど調査結果を整理する中で、それぞれの空き家状況に応じて空き家バンクなど活用の提案や解体補助金の提案など、対応対策を実施してまいりたいと思います。
--	--	---

		次に出張！なんでも鑑定団 in 海陽についてでございます。 テレビ東京の人気番組「なんでも鑑定団」に応募させていただき、来年の２月に海陽町に来ていただくことになりました。美術品からお菓子のオマケやおもちゃまで、何でも応募可能でありますので、ぜひ皆さま方のお宝を出品していただけますようお願いをいたします。なお、今後の広報や新聞への折り込みチラシ等で募集をさせていただきます。番組を構成するにあたりまして、たくさんの応募が必要だと聞いておりますので、皆さま方の出品やお声掛けをよろしくお願いをいたします。 次に海陽町ご当地ナンバープレートについてでございます。 １０月１日より、町が発行する１２５cc以下の原付に海陽町のご当地ナンバープレートを発行いたします。海陽町の海と太陽をイメージしたデザインで、従来のナンバープレートと同様に無料交付となります。通常のものとの選択制で番号は選べませんが、現在交付済みのナンバープレートからも一度きりで交換可能でございます。３庁舎で発行し、広報やホームページの周知や窓口で見本をディスプレイする予定でありますので、海陽町のＰＲも兼ねて、ぜひ利用いただければと思います。 次に、「はぐくむまちの実現」についてでございます。 まず、高齢者スマホ教室についてです。 ８月に行われました高齢者スマホ教室でありますが、今回は業者だけではなく、高校生にもサポートをお願いいたしました。教室後にはスマホ操作の疑問に高校生が応じる相談会を実施するなど、非常に有意義なものになったと思います。参加者からは「スマホ操作の習熟と共に、高校生との交流もでき非常に良かった」と言う声も聞いておりますので、今後もこのような形で進めてまいりたいと思います。 次に、海部高校魅力化事業についてでございます。 今年度の新規事業として８月７日から９日に高校生の国内留学を実施をし、５名の学生が参加をいたしました。明泉学園の全面協力のもと、素晴らしい企画提案をいただき、２泊３日の東京での研修を通じて都市部の高校生や大学生との交流やフィールドワークなど参加した一人一人が刺激と感銘を受けて帰ってきたと聞いております。今後も海部高校が行きたい学校として選んでいただけるように、高校と協力する中で更なる魅力向上に努めてまいりたいと思います。 次に、幼保再編についてでございます。 公立の海陽幼稚園、海南保育所、海部西保育所の３施設を再編し、３から５歳児は公立の認定こども園である「かいようこども園」に、０～２歳児は公設民営の「かいよう保育所」とし、令和７年４月１日の開設に向けて取り組んでいるところでございます。 かいようこども園につきましては、幼児期からのグローバル教育を軸に、ことばの教室なども行い、海陽町の小中学校で行っているグローバル教育によりスムーズにつなげていけるよう、本町ならではの特徴的な幼児教育を行っていく予定です。 かいよう保育所につきましては、公募型プロポーザルを実施し、８月２０日に社会福祉法人二葉福祉会が指定管理者に選定されました。今議会で指定管理者の指定につきましの議案を提出させていただいておりますので、ご承認をよろしくお願いをいたします。 海陽町で生まれ育った子どもたちが、将来、大海に出てもひるまず、どんどんと活躍できるように、引き続き、海陽町で子育てをしたいと思ってもらえるような子育て環境を目指して取り組んでまいりたいと思います。 次にグローバル教育についてでございます。 帰国したＡＬＴに代わり、８月より新たにカナダ・イギリス出身の２名のＡＬＴが各中学校に配置をされ、これで小学校のみならず、中学校でのグローバル教育も充実してまいりました。７月３０日には文化村で英語イベントも開催し、町内から３４名、町外からも１８名の参加者があり、子どもたちの英語に対する興味も徐々に上がってきているところです。今後も海陽町の中学校を卒業したら英語がしゃべれるということを目指し、一人一人が異文化を理解し、主体的に物事を考え、グローバルな社会で活躍していける力を育んでいければと思います。 最後にＩＣＴ教育についてでございます。 夏休み期間中、小中学校におきましてタブレット端末の持ち帰り学習なども実施し、台風時においても自宅と教室をつなぐ環境整備や授業などの準備も進めていただいております。引き続き、ＩＣＴ担当教員によるＡＩ教材の活用方法などの研修も行っていき、台風の警報時にも子どもたちの学びを止めない、併せて家庭での見守りもできるように、全学校でＩＣＴ教育の底上げとさらなる推進に力を注いでまいります。 他にもさまざまな事項はございますが、議案審議の方でご説明をいたしたいと思います。 また、９月定例会は決算月でありまして、監査委員より、令和５年度の決算審査の報告をいただいております。厳正な審査の上、認定をいただけますようお願いをいたしまして、行政報告とさせていただきます。
--	--	--

散会	東議長	皆さん、どうぞよろしく願いをいたします。 これで、町長行政報告は終わりました。 日程第５、議案第６４号、決算の認定についてから、日程第１８、議案第７７号、令和６年度海陽町海南病院事業会計補正予算（第２号）までを一括議題といたします。 提案者より提案理由の説明を求めます。三浦町長。
	三浦町長	それでは、今議会に提出をいたしました諸議案の概要等について説明をいたします。 議案第６４号、決算の認定については、令和５年度の各会計の決算を監査委員の意見を付して、議会の認定をいただきたく、提案させていただきます。 議案第６５号、令和５年度海陽町水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、地方公営企業法の規定に基づき、未処分利益剰余金を処分するため、提案させていただきます。 議案第６６号、専決処分の承認を求めることについて。専決第１１号、令和６年度海陽町一般会計補正予算（第３号）は、海中観光船ブルーマリン修繕及び火災による災害見舞金の予算補正をする必要が生じたため、地方自治法第１７９条第１項の規定に基づき、令和６年８月２６日に専決処分をしたので、同条第３項の規定により、議会に報告し、承認をいただきたく、提案させていただきます。 議案第６７号、海陽町立幼稚園型認定こども園条例は、幼稚園型認定こども園を開設することに伴い、条例制定をする必要が生じたため、提案させていただきます。 議案第６８号、海陽町立幼稚園型認定こども園の設置に伴う関係条例の整備に関する条例は、認定こども園開設に伴い、関係する条例改正等をする必要が生じたため、提案させていただきます。 議案第６９号、海陽町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例は、国の省令改正に伴い、条例改正をする必要が生じたため、提案させていただきます。 議案第７０号、海陽町国民健康保険条例の一部を改正する条例は、マイナンバー保険証の開始に伴い、条例改正をする必要が生じたため、提案させていただきます。 議案第７１号、徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更については、マイナンバー保険証の開始に伴い、規約改正をする必要が生じたため、提案させていただきます。 議案第７２号、指定管理者の指定については、かいよう保育所の指定管理者を指定するため、議会の議決をいただきたく、提案させていただきます。 議案第７３号、人権擁護委員候補者の推薦については、辻芳昭人権擁護委員が、令和６年１２月３１日に任期満了を迎えるため、同委員の再任の推薦をいたしたく、提案させていただきます。 議案第７４号、令和６年度海陽町一般会計補正予算（第４号）は、こどもの居場所づくり事業や宍喰地区防災公園整備事業などの予算補正をする必要が生じたため、提案させていただきます。 議案第７５号、令和６年度海陽町介護保険特別会計補正予算（第１号）は、国庫支出金などの精算による返還金等の予算補正をする必要が生じたため、提案させていただきます。 議案第７６号、令和６年度海陽町下水道事業会計補正予算（第１号）は、漁業集落環境整備事業申請委託料の予算補正をする必要が生じたため、提案させていただきます。 議案第７７号、令和６年度海陽町海南病院事業会計補正予算（第２号）は、マイナンバー保険証の読取機購入などの予算補正をする必要が生じたため、提案させていただきます。 以上、議案１４件を提案させていただきますので、ご審議、ご同意くださいますよう、よろしく願いをいたします。
	東議長	これで提案理由の説明を終わります。 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。 この後、本議会散会后、文教厚生常任委員会を開催いたします。午後４時から議会運営委員会を開催いたします。 １０日、火曜日、午前９時３０分から総務産業建設常任委員会を開催いたします。 １１日、水曜日は委員会予備日とし、１２日、木曜日、午前９時３０分より本議会を再開いたします。 本日はこれで散会いたします。（午前１０時１４分） ご苦労さまでした。

		上会議録を作成し、その内容に相違なき事を証明するためここに署名する。 海陽町議会議長 海陽町議会議員 海陽町議会議員
--	--	--